

平成29年度 京都市小中一貫学習支援プログラムの実施概要について

1 趣旨・目的等

- 京都市独自の教材開発，学習システムを構築し，小・中学校の連携を進める中で，継続して子どもたちの学習意欲を高め，義務教育一貫した学力の積み上げに取り組む。
- 児童・生徒が自己の学習状況を定期的に確認することを通して，学習の改善および一人一人の確かな学力の向上を図る。
- 個別・詳細な資料をもとに，授業改善・指導力向上を図る。
- 同趣旨のもとで，発達段階に応じた効果的な実施方法を検討する。

2 実施学年・教科

※実施時期及び実施回数については，一部変更の可能性がある。

(1) 「プレジョイントプログラム」 (小学校3～4年生)

- 実施学年：小3 (1月)，小4 (1月)
- 実施教科：国語，社会，算数，理科

(2) 「ジョイントプログラム」 (小学校5～6年生及び中学校1年生)

- 実施学年：小5 (8,1月)，小6 (8,1月)，中1 (4月)
- 実施教科：国語，社会(1月のみ)，算数，理科(1月のみ)

(3) 「学習確認プログラム」 (中学校1～3年生)

- 実施学年：中1 (12月)，中2 (7,10,2月)，中3 (5,10月)
- 実施教科：国語，社会，数学，理科，英語

3 実施方法

- 各校ほぼ同時期に実施する。
- 学習の定着状況の確認はテスト形式 (1教科当たり中学校45分・小学校40分) で行う。
- 小学校3～4年生の児童には，出題範囲表，学習確認問題，解答解説，学習状況資料 (個人成績) などを配布する。
- 小学校5～6年生及び中学校1～3年生の児童生徒には，総合年間出題計画表，教科別年間出題計画，各回ごとの出題範囲・予習教材，学習確認問題，解答解説・自己診断シート，学習状況資料 (個人成績)，復習教材などを配布する。
- 学校用のデータ資料 (アンケート結果含む) を作成する。
- 各種資料の内容・様式等は別途検討する。

4 作問方法

小中学校教育研究会が委託機関との連携のもとで作成する。

5 データ処理

委託機関が採点，集計・分析を行い，採点結果と学習状況資料等を各学校に送付する。学習状況資料 (個人成績) には，当該学年以前の確認テスト結果を反映させる。

6 実施児童生徒数（予定）

小学校及び希望する総合支援学校の小学部：各学年約 10,500 人

中学校及び希望する総合支援学校の中学部：各学年約 10,500 人

（※）実施児童生徒数については、実際の実施人数により増減します。

7 予定価格

総額を 173,817,000 円（消費税及び地方消費税相当額含む）とする。

ただし、各ステージとも 1 回あたりの単価を設定し、以下のとおり単価×実施児童生徒数を予定価格とする。（消費税及び地方消費税相当額含む）。

【プレジョイントプログラム】

ア 平成 29 年度第 1 回 1 人あたり 1,140 円（総額 11,970,000 円）

イ 平成 29 年度第 2 回 1 人あたり 1,140 円（総額 11,970,000 円）

【ジョイントプログラム】

ア 平成 28 年度第 5 回 1 人あたり 450 円（総額 4,725,000 円）

イ 平成 29 年度第 1 回 1 人あたり 918 円（総額 9,639,000 円）

ウ 平成 29 年度第 2 回 1 人あたり 918 円（総額 9,639,000 円）

エ 平成 29 年度第 3 回 1 人あたり 918 円（総額 9,639,000 円）

オ 平成 29 年度第 4 回 1 人あたり 918 円（総額 9,639,000 円）

カ 平成 29 年度第 5 回 1 人あたり 468 円（総額 4,914,000 円）

【学習確認プログラム】

ア ベイシックステージ 1 人あたり 1,614 円（総額 16,947,000 円）

イ プレスステージ 1 1 人あたり 1,614 円（総額 16,947,000 円）

ウ プレスステージ 2 1 人あたり 1,614 円（総額 16,947,000 円）

エ プレスステージ 3 1 人あたり 1,614 円（総額 16,947,000 円）

オ 第 1 ステージ 1 人あたり 1,614 円（総額 16,947,000 円）

カ 第 2 ステージ 1 人あたり 1,614 円（総額 16,947,000 円）